学校モデル【A】

ICT ミニ研修や ICT 通信で 校内すべての教員の ICT スキルアップ！

A：校内研修Ⅰ型（日常的に行う研修）

このような教員の姿が生まれました！

- ■ 一緒に解決方法を話し合う姿や ICT を活用してみようとする姿が生まれました。
- ■ ID、パスワードの管理や ICT 機器の操作についての情報を整理し、共有する姿が生まれました。

ICT のミニ研修

全校研究会で話題になった Kahoot!の研修

- Kahoot!（ネット上で問題を作成し、児童がリアルタイムで回答できるアプリ）が全校研究会の時に話題になり、活用してみたいという話になった。しかし、操作が複雑であったため、希望制でミニ研修を行った。
- ICT 通信を発行し、機器やアプリの操作方法や実際の画面を掲載した。そして、その内容に沿って研修を進めた。すでに活用できる教師が講師役を務め、職員同士が教え合う研修会にした。

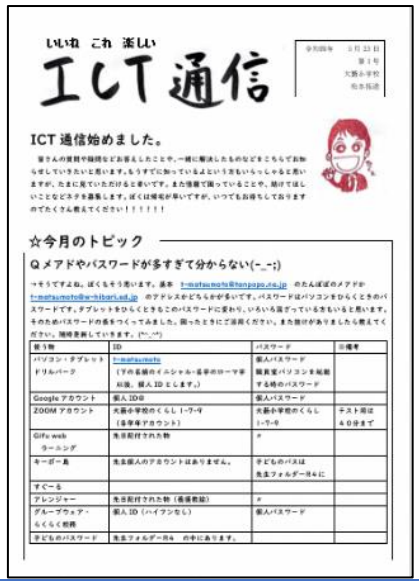
実践してみて

- ➢ 教員間で困ったことなどを気軽に話せるようになった。
- ➢ ICTの活用を積極的に行う教員が増えた。

ICT 通信

先生方から質問を受けたら ICT 通信

- 困ったことや質問があったことに対して、ICT 通信を作成して、解決方法等を知らせた。「パスワードが分からない。」や「どのように使えばいいのか。」と聞かれた時に通信を見て、すぐ確認できる通信になるよう心掛けた。



ICT 通信のポイント

- ➢ ICT 活用が得意な教員だけが活用するのではなく、全ての教師の ICT 活用指導力が向上するようにした。
- ➢ ID・パスワードの管理や ICT 機器の操作について整理・共有した。
- ➢ 職員室や研修内で試してみたい活用方法を積極的に話題にした。